

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

令和2年10月20日

審査機関名 ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	食品工場における高効率ボイラー、エコキュート、高効率空調設備への更新による CO2 排出削減事業
承認番号	JCDM-PJKC1513
排出削減事業者名	フジミツ株式会社
排出削減共同実施事業者名	丸紅株式会社
事業実施場所	フジミツ株式会社 三隅工場 (山口県長門市三隅下 2378 番 31 号)
事業の概要	炉筒煙管ボイラーから高効率の貫流ボイラーへ更新し、ボイラ給水及び洗浄用温水製造をエコキュートで行う。また、高効率空調設備への更新により CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2011 年度：151 tCO2/年 2012 年度：442tCO2/年 2013 年度：444 tCO2/年 2014 年度：440 tCO2/年 2015 年度：434 tCO2/年 2016 年度：430 tCO2/年 2017 年度：425 tCO2/年 2018 年度：417 tCO2/年 2019 年度：243 tCO2/年 (事業実施期間合計 3,426 tCO2)
認証期間	開始日 2011 年 10 月 31 日 終了予定日 2019 年 10 月 30 日

排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新
	方法論番号 002 ヒートポンプ導入による熱源機器の更新
	方法論番号 004 空調設備の更新

2. 本実績確認の対象期間

2018年4月1日～2019年10月30日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	575 tCO ₂ （2018年4月1日～2019年10月30日）
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 更新後高効率ボイラー、ヒートポンプ、高効率空調機 は実績確認の期間中継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における燃料流量計、電力量計の計測データ等により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 承認排出方法論及び承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認している。 2) 活動量の正確性 A 重油使用量は流量計の燃料計測データ、電力使用量は電力計の計測データを集計することにより適切に把握していることを確認した。その記録結果については、正しく実績報告書に反映されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロ

	<p>ジェクト用) Ver.3.6 により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>事業実施後排出量、ベースライン排出量、排出削減量の算定結果を測定結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。また本事業において、リーケージ排出量は発生しないことを確認している。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は 2018 年 4 月 1 日から 2019 年 10 月 30 日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2019 年 10 月 30 日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量は、3 方法論合計で原油換算 249.9KL であることを確認した。

以 上